

第 63 回 幹 事 会

平成 20 年 9 月 4 日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第62回議事要旨

資料 5 諸報告

資料 6 審議事項

資料 7 報告「21世紀を豊かに生きるための「科学技術の智」」

資料 8 報告「科学・技術発展のための長期研究の推進—知覚情報取得技術による限界突破—」

資料 9 報告「21世紀ものづくり科学のあり方について」

資料 1.0 報告「宇宙環境利用の新たな時代を目指して」

参考 1 今後の予定

学術月報

第 6 3 回幹事会議事次第

日時 平成 2 0 年 9 月 4 日 (木) 1 3 : 0 0 ~

議題

Ⅰ 非公開審議事項

1 委員会関係

提案1 日本の展望委員会における分科会の委員の決定

Ⅱ 前回幹事会以降の諸報告

Ⅲ 審議事項

1 提言等

提案2 報告「21世紀を豊かに生きるための「科学技術の智」」

提案3 報告「科学・技術発展のための長期研究の推進—知覚情報取得技術による限界突破—」

提案4 報告「21世紀ものづくり科学のあり方について」

提案5 報告「宇宙環境利用の新たな時代を目指して」

2 総会日程

提案6 第154回総会日程案

3 シンポジウム等

提案7 「基礎歯科医学の人材育成」(シンポジウム)

提案8 「職業としての学問 細胞生物学の魅力—私はなぜ生命科学研究者になったか?」(シンポジウム)

提案9 「健康に及ぼす室内環境のリスク評価とリスクコミュニケーション」(シンポジウム)

4 後援

提案10 国内会議

5 その他

提案11 委員会等委員の任期について

Ⅳ その他

資料2

第63回幹事会（9月4日）出席者一覧

会長	金澤 一郎
副会長	鈴木 興太郎
副会長	土居 範久

第一部	部長	広渡 清吾	(冒頭欠席)
	副部長	佐藤 学	
	幹事	江原 由美子	
	幹事	小林 良彰	

第二部	部長	唐木 英明
	副部長	北島 政樹

第三部	部長	海部 宣男
	副部長	小林 敏雄
	幹事	河野 長

事務局長	竹林 義久
------	-------

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 審議付託等	1
第 2 各部・各委員会報告	
1 部会の開催とその議題	1
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	1
3 機能別委員会の開催とその議題	1
4 分野別委員会の開催とその議題	2
5 課題別委員会の開催とその議題	3
6 記録	3
7 サイエンスカフェの開催	3
8 総合科学技術会議報告	3
9 慶弔	

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 審議付託等

件 名	申請者	審議付託先
「日本の科学者技術者展シリーズ第7回 関孝和三百年祭記念 数学 日本のパイオニアたち」の後援	関孝和三百年祭記念事業実行委員会委員長	第三部
氷床変動とグローバルな気候変動：ランベック教授来日記念シンポジウムの後援	日本第四紀学会長	第三部

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

なし

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 日本の展望委員会 人文・社会科学分科会 (第1回) (9月2日)

①役員の選出 ②検討事項について

(2) 日本の展望委員会 個人と国家分科会 (第1回) (9月3日)

①役員の選出 ②検討事項について

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学と社会委員会年次報告等検討分科会 (第4回) (8月28日)

①年次報告書(案)について ②その他

(2) 国際委員会日英学術交流分科会 (第20期・第7回) (平成20年9月3日)

① 前回議事要旨(案)の確認 ② 事務局職員の交代について ③ プログラム案について④ プレゼン資料について⑤ 日本人参加者略歴について ⑥ 今後のスケジュールについて ⑦ その他

(3) 国際委員会 AASSREC 等分科会 (第20期・第18回 平成20年9月2日)

①第17回AASSREC隔年総会について

- 成果の刊行について
- その他

②AASSREC理事会について③第18回AASSREC総会のテーマについて④今後のAASSREC及びIFSSOについて

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

- (1) 法学委員会 「不平等・格差社会とセーフティ・ネット」分科会
(第9回)(8月28日)
①報告書について ②次期以降の分科会のあり方について ③その他
- (2) 心理学・教育学委員会 法と心理学分科会(第6回)(9月3日)
①「法と心理学」領域における人材養成とカリキュラムについて
話題提供 川邊 譲 氏(府中刑務所分類審議室長)
藤川 朋子 氏(東京家庭裁判所調査官)
②その他

第二部担当

- (1) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 細胞生物学分科会
(第5回)(8月29日)
①これまでの活動の総括と今後の活動について ②その他
- (2) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会合同
植物科学分科会(第5回)(8月29日)
①分科会活動について ②その他
- (3) 歯学委員会(第15回)(9月2日)
①市民公開シンポジウム「歯科医学の将来展望」について ③その他
- (4) 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同 パブリックヘルス分科会
(第8回)(9月2日)
①公衆衛生関連「学協会」連携組織の立ち上げについて ②提言について
③活動報告書について ④その他

第三部担当

- (1) 電気電子工学委員会 URSI分科会(第7回)(8月28日)
①URSI分科会の活動について
1) 日本学術会議第153回臨時総会への報告の提出について
2) 日本学術会議の活動状況等に関する年次報告について
3) 第21期のURSI分科会の体制について

4) その他

②第29回URSI総会への対応について

1) URSI 学術賞受賞者について

2) URSI 総会期間中のCouncil会議について

3) その他

③2010年アジア・太平洋電波科学会議 (AP-RASC '10) の日本開催について

④各小委員会の活動報告 ⑤その他

5 課題別委員会の開催とその議題

なし

6 記録

第一部関係

文書番号				委員会等名	標題
作成日	委員会No	受付日			
SCJ第20期-200904-20350700-005				史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会	第20期 史学委員会歴史認識・歴史教育に関する分科会記録
SCJ第20期-200829-20380700-006				政治学委員会国際政治分科会	東アジア共同体と拡大EU 地域統合比較研究に関する記録

第三部関係

文書番号				委員会等名	標題
作成日	委員会No	受付日			
SCJ第20期-200827-20560200-009				機械工学委員会 機械工学ディ シプリン分科会	人と社会を支える機械工学へ向けて
SCJ第20期-200828-20600600-010				健康・生活科学委員会・環境学委 員会合同環境リスク分科会	第20期 環境リスク分科会活動記録—リスク概 念の普及と啓発—

7 サイエンスカフェの開催

なし

8 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

- ・ 8月21日 *会長出席
- ・ 8月28日 *会長欠席
- ・ 9月 4日 *会長欠席

9 慶弔

◇ご逝去

永田 雅宜 (ながた まさよし) 8月27日 第14、15期・第4部会員、
京都大学名誉教授

審 議 事 項

1	提言等	
提案2	報告「21世紀を豊かに生きるための「科学技術の智」」	1
提案3	報告「科学・技術発展のための長期研究の推進－知覚情報取得技術による限界突破－」	2
提案4	報告「21世紀ものづくり科学のあり方について」	3
提案5	報告「宇宙環境利用の新たな時代を目指して」	4
2	総会日程	
提案6	第154回総会日程案	5
3	シンポジウム等	
提案7	「基礎歯科医学の人材育成」(シンポジウム)	7
提案8	「職業としての学問 細胞生物学の魅力－私はなぜ生命科学研究者になったか?」(シンポジウム)	9
提案9	「健康に及ぼす室内環境のリスク評価とリスクコミュニケーション」(シンポジウム)	11
4	後援	
提案10	国内会議	13
5	その他	
提案11	委員会等委員の任期について	(別紙)

2	
幹事会	6 3

提 案

報 告

「21 世紀を豊かに生きるための「科学技術の智」」

1. 提案者 科学と社会委員会委員長
2. 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
3. 提案理由 科学と社会委員会科学力増進分科会における報告を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第四号の

「報告」として取り扱うこと

3	
幹事会	63

提 案

報 告

「科学・技術発展のための長期研究の推進
—知覚情報取得技術による限界突破—」

1. 提案者 基礎生物学委員会委員長、物理学委員会委員長、化学委員会委員長、総合工学委員会委員長、材料工学委員会委員長
2. 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
3. 提案理由 基礎生物学委員会・物理学委員会・化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化に関する検討分科会における報告を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第四号の

「報告」として取り扱うこと

4	
幹事会	6 3

提 案

報 告

「21 世紀ものづくり科学のあり方について」

1. 提案者 機械工学委員会委員長
2. 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
3. 提案理由 機械工学委員会生産科学分科会における報告を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第四号の

「報告」として取り扱うこと

5	
幹事会	63

提 案

報 告

「宇宙環境利用の新たな時代を目指して」

1. 提案者 総合工学委員会委員長
2. 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
3. 提案理由 基礎生物学委員会・臨床医学委員会・物理学委員会・総合工学委員会・機械工学委員会・電気電子工学分科会合同重力加速度依存現象の科学・生命科学検討分科会における報告を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第四号の

「報告」として取り扱うこと

6	
幹事会	6 3

提 案

第154回総会日程（案）

1 提 案 者 会 長

2 議 案 標記について、別紙のとおりとすること。

第154回総会日程（案）

— 第21期第1回 —

第1 日程表

	10:00	12:00	14:00	17:30 ^{17:00}	18:30
10月1日(水)	会員候補者集合(10:30) 24229-320 (日本学術会議講堂)	会員任命式(12:35-12:50) (総理官邸) 昼食(13:30-14:00) (会議室)	総会(総会館) ・会長互選 ・前会長前期活動報告 ・会員所属部の決定 ・細則の改正	移動	懇談会(学士会館)(予定)
	10:00	11:00	12:00	13:30	16:00 17:00
10月2日(木)	総会 会長による副会長の指名	部会 ・部長互選等	昼休み	部会 ・部長による副部長・幹事指名等 ・機能別委員会等に所属すべき会員の推薦 ・「各部による新連携会員への説明会」の日程検討等	地区会議 幹事会 ・各種委員会要綱類の議決 ・機能別委員会委員等の承認
	10:00	11:00	12:00	13:30	16:00
10月3日(金)	分野別委員会 ・分科会委員長の選考	昼休み	機能別委員会 ・機能別委員会副委員長、幹事の指名等 ・分科会委員の選考 ・今後の運営	幹事会 ・日程調整等	

(総会中の日程は、審議の状況により変更される場合があります。)

第2 会場

総会……講堂
 部会……各部会議室
 幹事会……大会議室

第3 その他

懇談会 10月1日(水) 学士会館(予定) 18:30～

7	
幹事会	63

提 案

シンポジウム「基礎歯科医学の人材育成」

1. 提案者 歯学委員会委員長
2. 議 題 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催 日本学術会議 歯学委員会 基礎系歯学分科会
2. 共 催 歯科基礎医学会
3. 日 時 平成20年9月23日(火) 12:35～14:30
4. 場 所 TOC有明コンベンションホール W1～4
(郵便番号 135-0063 東京江東区有明 2 丁目 5-7、TOC 有明ビル 4 階)

5. 次 第

(1) 開催趣旨

基礎研究の発展には、次に続く人材の育成が重要であり、その手始めともいえる大学院進学学生数の増加を図ることは最優先課題である。しかしながら、基礎系大学院に進学する学生数の減少傾向は依然として続いている。この傾向に歯止めをかけるためには、大学院の教育研究の理念を一新し、学生にとって魅力のあるプログラムを充実、整備することが望まれる。本シンポジウムにおいては、そのような試みを実践している二人にお話を伺う。

(2) プログラム:

1) 開会の挨拶

米田 俊之(基礎系歯学分科会委員長 大阪大学歯学部長)

2) 講 演

①「大学院教育改革：横断的・系統的 医学研究キャリアパス形成」

湊 長博(日本学術会議連携会員 京都大学大学院医学系研究科教授)

②「横断型工学教育のチャレンジ」

谷下和夫(日本学術会議連携会員 慶應義塾大学理工・システムデザイン工学教授)

3) フリーディスカッション

6. 申し込みの有無について
事前の申し込みの必要なし

7. 分科会の開催
同日、TOC有明コンベンションホール会議室において分科会を開催

8	
幹事会	63

提 案

シンポジウム「職業としての学問 細胞生物学の魅力
ー私はなぜ生命科学研究者になったか？」

1. 提案者 基礎医学委員会委員長
 基礎生物学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催 日本学術会議
 基礎医学委員会（形態・細胞生物医科学分科会（予定））
 基礎生物学委員会（細胞生物分科会（予定））
2. 日 時 平成20年10月28日（火）13:00～17:00
3. 場 所 京都大学 芝蘭会館稲盛ホール（京都市左京区吉田近衛町）
4. 次 第
（開催趣旨）

学術会議の「細胞生物学分科会」と「形態・細胞生物医科学分科会」は、これから大学院へ進む学生、博士課程へ進もうとしている大学院生などを対象に、サイエンスの面白さを伝えるとともに、若手研究者の育成を通じて将来の日本のサイエンスのアクティビティーを確保する必要があるとの認識から、細胞生物学分野の第一線で活躍している著明な研究者による上記シンポジウムを合同で開催する。それぞれの先生の体験、考え方などを通じてサイエンスの面白さとその意味を語っていただき、若い研究者の卵たちの研究に対する興味と関心を引き出すことにより、基礎研究を志向する学生、大学院生が増えることを期待している。

(プログラム)

講演者：

郷 通子 (お茶の水女子大)

竹市 雅俊 (理研、発生再生センター)

吉田 賢右 (東工大、資源研)

成宮 周 (京大、医学研究科)

山中 伸弥 (京大、再生研)

世話人：永田和宏、塩田浩平 (京大)

5. その他

- (1) 聴衆：学生、大学院生、若手研究者を中心に 200～250 名を予定
- (2) 第 21 期の分科会が発足していれば、京都において分科会を開催

9	
幹事会	63

提 案

市民公開シンポジウム

「健康に及ぼす室内環境のリスク評価とリスクコミュニケーション」の開催

1. 提案者 健康・生活科学委員会・環境学委員会合同
環境リスク分科会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同
環境リスク分科会
共 催 日本公衆衛生学会
2. 日 時 平成20年11月7日（金）（時間未定）
3. 場 所 福岡サンパレスまたは福岡国際会議場（予定）
4. 次 第

開催趣旨

シックハウス対策のための建築基準法が改正され、新築建物に関しては機械換気設備の設置が義務付けられ、ホルムアルデヒドを発生する建材の使用については面積の制限が規定された。シックハウス問題は一見解決したかのような趣があるが、未だに問題を抱えている建物は多い。また、アレルギー疾患は増加の傾向を示しているが、原因の一つはハウスダクトであることも判明している。ハウスダストは室内の温度、湿度の環境や換気設備の性能によって大きく左右されることが推察される。更に、室内の温度環境が健康に影響を及ぼすことは明らかであるが、近年は浴室における脳卒中の発症やそれが原因となって引き起こされる溺死は大きな社会的問題となっている。

本シンポジウムでは、健康に及ぼす室内環境のリスク評価とリスクコミュニケーションと題して、室内の環境がシックハウス症候群、アレルギー疾患、感染症、脳卒中などの疾患に対してどの程度のリスクを孕むのか、またそれを回避するためには、どのような形での情報伝達が必要かについて専門の先生方からの報告をいただくこととする。現代社会に住む我々は、多くの環境

リスクに曝されている。特に石油化学の発展以後多くの化学物質にとり囲まれ、カネミ油症事件、ダイオキシン類、いわゆる環境ホルモンといった問題が次々と起こり、健康リスクに対する国民の不安が高まっている。これらの問題は、従来の安全か危険かという二分法ではなく、「リスク」という一種の確率の概念で捉えられるようになっているが、一般国民の理解はまだ十分とは言えない。リスクに関する正しい知識を共有し、リスクを削減していくための手段としてのリスクコミュニケーションに関しても同様である。本シンポジウムでは、リスク社会、化学物質、放射線の健康リスクをとりあげ、どのようにリスクコミュニケーションを考えて行ったらいいのかを、主に衛生学の専門家、行政、市民と意見を交わすことを目的としている。これらのシンポジウムを通して得られた情報や資料を基にして、日本学術会議の対外報告に資する。

座長 吉野 博（東北大学）、吉村健清（福岡県保険環境研究所）

パネリスト：

「室内の環境と健康 過去・現在・未来」

吉野 博（既出）

「諸外国における室内空気質規制に関する研究」

池田 耕一（国立保健医療科学院建築衛生部研究員（前部長））

「冬期の高齢者入浴とヒートショック」

梶原 裕（九州大学大学院芸術工学研究院教授）

「人々はリスクをどう考えるのか？」

土田 昭司（関西大学社会学部教授）

「健康的な室内環境と住まい方」

田中 正敏（福島学院大学教授）

10	
幹事会	63

提 案

国内会議の後援

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○後援する

名 称 等	申 請 者	審議 付託先
日本体操学会第8回大会の後援 ①主催：日本体操学会 ②期間：平成20年9月6日、7日 ③場所：京都学園大学	日本体操学会 長	第一部、 第二部
現代を見る目、めざす未来～食と健康のコミュニケーションの後援 ①主催：日本科学技術ジャーナリスト会議 ②期間：平成20年10月25日 ③場所：JST ホール	日本科学技術 ジャーナリス ト会議会長	第二部
第34回全国語学教育学会年次国際大会の後援 ①主催：全国語学教育学会 ②期間：平成20年10月31日～11月3日 ③場所：国立オリンピック記念青少年総合センター	全国語学教育 学会長	第一部